



中村ロータリークラブ

例会記録 (2022～2023)

会 長/小 松 昭 二

幹 事/田 辺 豊

会報委員長/豊 島 幸 枝

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2746

第2877回 令和5年5月17日(晴れ)

本日のプログラム: ZOOMゲスト 田原 綾乃様 (グローバル補助金奨学生)

5月24日(水): 美化ゾーン例会

5月31日(水): 地区大会報告

【会長挨拶】小松 昭二会長

- ・皆様こんにちは。本日はZOOMでのゲストスピーチです。ロータリー財団グローバル補助金奨学生、田原綾乃様よろしくお願いします。
- ・会長として欠席が続いています。5月は31日、6月は28日に出席予定です。代行の稲田エレクトお世話になります。私が忙しいということは、観光業も正常になってきた証です。現在、高知県は「らんまん」効果もあり多くの観光客が来ています。この勢いを来年に引き継ぐために、現在、「食」であったり各地の「風物詩」等を見つめ直し、それぞれの文化を深堀していきたいと考えています。例えば、196Km蛇行している四万十川の辺りには集落があります。その集落を結ぶには舟および沈下橋が必要となります。そのあたりをもう一度見つめ直し、観光客誘致に向けて情報発信していく予定です。

【幹事報告】田辺 豊幹事

- ・ガバナー事務所より
 - 1) 地区大会ゴルフコンペ組合せ表
 - 2) 松山インターアクトクラブより
ネパールへ冬物衣類を送る支援物資活動への協力依頼 (6/7まで)
- ・宿毛RCより
5クラブ親睦ゴルフコンペ参加の令状と収支報告拝受
- ・次年度の各委員長へ
活動計画の提出原稿をお願いします

【委員会報告・会員発言】

■荒川ロータリー財団委員長

本年度も残り1ヶ月半となりました。ロータリー財団へのご寄付を6月中旬までによりしくお願いします。

■井上環境保全委員長

来週は美化ゾーン野外例会です。予報では暑い1日となりそうですのでよろしくお願いします。



【本日のプログラム】 ZOOM ゲスト 田原 綾乃様 (グローバル補助金奨学生)



皆様こんにちは。ロータリー財団グローバル補助金奨学生の田原綾乃です。この度は留学へのご支援を頂きありがとうございました。東ガバナーはじめ大橋事務員には大変お世話になりました。本日はオンラインにてご報告させていただきます。

私と四国(第2670地区)との関わりから説明します。生まれは香川県高松市。小さい頃は栗林公園が遊び場で小学校低学年まで高松で育ちました。徳島県美馬市に祖父母がいましたので遊びに行くのが楽しみでした。その後、小学校の低学年～高学年まで松山市に3年間住んでいました。小学校5年より高知市。土佐中・高校と高知で楽しく過ごしましたので、四国では高知が一番の思い出があります。

高校卒業後、東京大学法学部、公共政策大学院と進み、野村総合研究所というコンサルタントで5年間働きました。専門はASEANなど海外進出戦略立案・実行支援や経営戦略立案などでした。

2016年度からは高知県の企業を対象とした講義を担当させて頂きました。

その後、国際ロータリーのグローバル補助金制度を知り応募。皆様のおかげを持ちまして留学する事ができました。

留学先は、IDS (Institute of Development Studies: 開発学研究所) です。所属先の研究機関は、開発学のシンクタンクとして世界1位。独立したシンクタンクゆえに学位を発行できないため、学位自体はキャンパスを共有しているサセックス大学から発行されました。主な研究内容は、途上国の支援方法並びにどうやって発展していくのか等を学んでいました。

留学先の場所はイギリスのブライトンで、LGBQの首都です。ブライトンは世界各国多様な

人種の街です。ベストセラーとなった『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』(作:ブレイディみかこ)の舞台となっています。イギリスの最南端のビーチ沿の街で晴れの日が多いのも有名な場所です。

留学先のロータリー財団の建物は1882年に設立されています。古くから地元名士の社交の場としても機能しています。私の滞在中はコロナ禍で頻繁には行くことはできませんでした。

留学先のロータリークラブから11月にメールが届きました。「市のホームレスや恵まれない人々を支援するプロジェクトに協力いただけないでしょうか。ブライトン&ホープ・ロータリークラブは毎年ホームレスの為に暖かいコートなどを集めています。この街にどれほどの貧困があるのか、すでに気づいているかもしれません。私たちは手伝ってくれるボランティアを募集しています」という内容でした。早速参加することにしました。1週間ほどの活動で2,000着もの冬服が集まりました。

私は今回の留学生活の中で、学内での交流や、その他様々な活動に参加し、いろいろなことを学びました。現場で「なぜ？」を得て、学問の場で追求する事の重要性。学びの場で「心的安全性」を作る事の大切さや「困っている人がいたら助ける」事の自然さ、社会的分断への危機感と、それを埋めるための個々人の意識と議論などを学びました。

総じて、「困難を抱えている人のため」に個人ができる活動は、国連のような大きな組織で働くことだけではなく、目の前の人に優しく接する事と理解しました。

今恵まれていない人々や、次世代が、少しでも生きやすい世界を作っていくために、私も自分にできることを精いっぱい頑張ろうと思います。

決意を新たにできたのも留学できたからこそです。改めまして、留学の応援をしてくださり、本当にありがとうございました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【ニコニコ箱】

一藤会員：田原さん、スピーチありがとうございました。

【出席報告】 ・ 会員総数55名 (免除会員6名)

・ 本日の出席/34名 75.50%

・ 先週の訂正

MU2 76.60%→80.00%